

軽快にヒップホップ

気仙沼市内児童・生徒

歌って踊って楽しいひととき

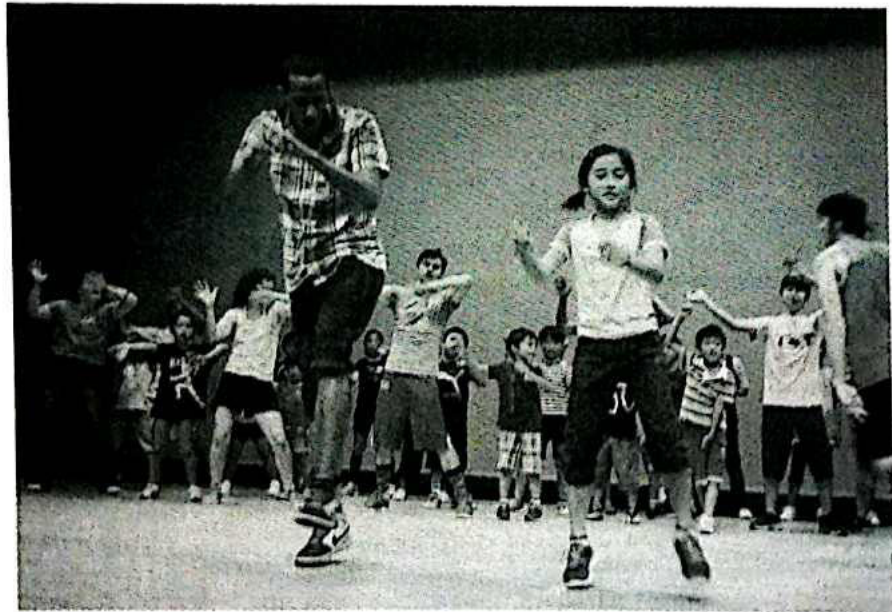
アメリカのNPO法人「ヤングアメリカンズ」(ミントン・アンダーソン代表)によるダンスなどのワークショップが17日、気仙

沼市本吉町の「はまなすホール」で開かれ、市内の子供たちが軽快なリズムに合わせて体をいっばい動かしながら楽しいひとときを過ごした。

NPO法人「じぶん未来クラブ」の協力で実施。この日は、小学1年から高校1年までの約50人が参加し、アメリカ人キャスト13人と一緒に踊ったり、歌ったりした。

子供たちは、最初のうちは緊張して遠慮がちに体を動かしていたが、アメリカ人キャストの動きを見よう見まねで少しずつヒップ

ホップをマスター。次と、「OK!すばらしい」などと声を掛けられ、満面の笑みを浮かべていた。



軽快なヒップホップに合わせて楽しくダンス

みんなで大きな声で歌う合唱のワークショップの後、覚えたてのダンスと歌をステージで発表すると、客席のお父さん、お母さんからは大きな拍手が送られた。

佐々木莉佳子さん(南気仙沼小4年)は「ダンスには難しい動きもあって、なかなか上手にできなかったけど、みんなと一緒にステージを作り上げるのができて楽しかった」と喜んでいました。

25日には南三陸町志津川の南三陸ホテル観洋でも開かれる。